



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東 大

上場会社名 福島工業株式会社

コード番号 6420 URL <http://www.fukusima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福島 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 部長

(氏名) 日野 達雄

TEL 06-6477-2011

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	11,010	24.6	1,015	92.4	1,051	81.0	638	133.3
24年3月期第1四半期	8,839	18.5	527	30.1	580	44.3	273	65.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 648百万円 (103.5%) 24年3月期第1四半期 318百万円 (181.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	60.23	—
24年3月期第1四半期	25.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	38,493	21,729	56.2	2,041.26
24年3月期	37,102	21,367	57.3	2,007.32

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 21,624百万円 24年3月期 21,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,334	1.5	1,364	△7.5	1,354	△10.6	776	△3.8	73.33
通期	40,662	0.4	2,705	△5.8	2,702	△13.9	1,597	△7.9	150.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	11,033,080 株	24年3月期	11,033,080 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	439,514 株	24年3月期	439,497 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	10,593,579 株	24年3月期1Q	10,593,733 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から1年が経過し、復興需要などを背景に緩やかに回復が見られるものの、欧州の経済危機や長引く円高、電力供給に対する不安などから、先行きの不透明な状況が続いています。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、所得環境に不安を抱える消費者の生活防衛意識や天候不順などの影響もあり、外食を控える傾向が続き、引き続き厳しい状況で推移いたしました。また、流通産業では、外食から内食へ消費がシフトし、利便性の優れたコンビニを中心に売上が伸びるなど、個人消費に一部回復の兆しが見られましたが、消費者の低価格志向や企業間の価格競争は激しくなるなど厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、内食へのシフトによる外食売上の低迷や先行きの不透明感はあるものの、前年同時期の東日本大震災の影響による一時的な落ちこみから脱却し、新規事業への参入や新業態への転換、厨房オペレーションの改善などの設備投資も徐々に回復してまいりました。また、高齢化を背景に着実に伸びている老健施設や宅配給食、病院給食向けの販売を強化したことから、汎用業務用冷蔵庫や製氷機の売上が堅調に伸びました。さらに、病院や研究施設向けにメディカル機器の売上が伸びたことや、ファミリーレストラン・コンビニ向けに小型ドゥコンディショナーの売上が伸びたことなどから、冷凍冷蔵庫販売の売上は堅調に推移いたしました。さらに、6月には縦型冷蔵庫をフルモデルチェンジし、当社従来品(2005年生産機種)と比較して電気代が1/3という大幅な省エネを実現した新製品を市場投入いたしました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、地域の食を支える食品スーパーの売上が堅調に推移したことから設備投資が増加し、業界トップクラスの省エネ対応ショーケース(Send-you)と独自の省エネ制御システム(アクシア・エコ)を積極的に提案したことや、削減した電気代で省エネ設備への投資が行えるESCO事業が着実に導入店舗を増やしたことなどから、オープンショーケースの売上は堅調に伸びました。また、インバータ冷凍機内蔵型アイランドショーケースIMW・IMLシリーズを発売し、省エネ製品のラインアップを充実いたしました。さらに、デマンドコントロールシステムや電力監視機器をはじめとするシステム機器を開発し、エネルギーを見える化することで使用量を削減するBEMS(ベムス)と呼ばれる建物トータルエネルギー管理システムを店舗や厨房向けに発売いたしました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。中でも、節電を背景にコンデンサー洗浄により冷却能力を回復するメンテナンス需要が増加し、売上に寄与いたしました。

設備工事では、オープンショーケースの売上増加に伴い、ショーケース関連の設備工事や大型冷蔵庫の売上が増加いたしました。

製造部門では、縦型冷蔵庫のモデルチェンジを行なうとともに、省エネ節水型の小型製氷機を開発し市場投入するなど、更なる省エネ製品の開発に注力してまいりました。また、岡山・滋賀の両工場共、ライン改造による生産性の向上や需要増に対応するためのラインの増設を行なうとともに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによるコスト低減を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は110億1千万円(前年同四半期比24.6%増)、営業利益は10億1千5百万円(前年同四半期比92.4%増)、経常利益は10億5千1百万円(前年同四半期比81.0%増)、四半期純利益は6億3千8百万円(前年同四半期比133.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は384億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億9千1百万円増加しております。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は267億1千5百万円(前連結会計年度末は254億6千9百万円)となり、12億4千5百万円増加しました。これは主として売上の増加に

よる受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は117億7千8百万円(前連結会計年度末は116億3千2百万円)となり、1億4千5百万円増加しました。これは主として有形固定資産「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は153億9百万円(前連結会計年度末は142億5百万円)となり、11億4百万円増加しました。これは主として支払手形及び買掛金並びに賞与引当金が増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は14億5千3百万円(前連結会計年度末は15億2千9百万円)となり、7千5百万円減少しました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は217億2千9百万円(前連結会計年度末は213億6千7百万円)となり、3億6千2百万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、平成24年5月11日公表の予想数値の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はございません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益は、1,572千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,719千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,500,677	11,047,699
受取手形及び売掛金	10,986,652	12,131,326
商品及び製品	1,014,963	1,173,591
仕掛品	599,945	708,675
原材料及び貯蔵品	1,090,550	1,129,162
その他	605,414	879,259
貸倒引当金	△328,792	△354,370
流動資産合計	25,469,410	26,715,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,555,479	2,549,167
土地	3,669,543	3,669,543
その他（純額）	791,936	962,744
有形固定資産合計	7,016,959	7,181,455
無形固定資産	97,583	102,675
投資その他の資産		
その他	4,578,341	4,550,209
貸倒引当金	△60,075	△56,282
投資その他の資産合計	4,518,266	4,493,927
固定資産合計	11,632,810	11,778,058
資産合計	37,102,221	38,493,403
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,119,973	10,509,432
短期借入金	355,973	410,399
未払法人税等	743,693	567,188
賞与引当金	670,952	1,108,999
製品保証引当金	208,545	176,272
その他	2,106,302	2,537,529
流動負債合計	14,205,441	15,309,821
固定負債		
長期借入金	411,827	374,387
退職給付引当金	665,644	645,206
役員退職慰労引当金	235,550	226,526
資産除去債務	95,549	95,785
その他	120,737	112,074
固定負債合計	1,529,308	1,453,980
負債合計	15,734,749	16,763,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	15,731,168	16,083,193
自己株式	△350,789	△350,807
株主資本合計	21,026,644	21,378,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,138	440,242
為替換算調整勘定	△242,107	△194,659
その他の包括利益累計額合計	238,031	245,583
少数株主持分	102,795	105,365
純資産合計	21,367,471	21,729,600
負債純資産合計	37,102,221	38,493,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	8,839,192	11,010,103
売上原価	6,801,066	8,288,081
売上総利益	2,038,125	2,722,021
販売費及び一般管理費	1,510,363	1,706,688
営業利益	527,761	1,015,333
営業外収益		
受取利息	536	980
受取配当金	17,549	19,099
受取家賃	23,397	22,900
その他	29,484	29,986
営業外収益合計	70,968	72,967
営業外費用		
支払利息	4,120	5,240
為替差損	9,340	28,949
支払補償費	3,691	2,053
その他	703	705
営業外費用合計	17,856	36,950
経常利益	580,873	1,051,350
特別損失		
投資有価証券評価損	46,274	—
特別損失合計	46,274	—
税金等調整前四半期純利益	534,599	1,051,350
法人税、住民税及び事業税	371,173	551,630
法人税等調整額	△105,388	△134,929
法人税等合計	265,785	416,700
少数株主損益調整前四半期純利益	268,814	634,649
少数株主損失 (△)	△4,638	△3,402
四半期純利益	273,453	638,051

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	268,814	634,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,647	△39,895
為替換算調整勘定	20,035	53,420
その他の包括利益合計	49,683	13,524
四半期包括利益	318,497	648,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320,310	645,603
少数株主に係る四半期包括利益	△1,812	2,570

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
該当事項はありません。